

**令和6年度第3回自立支援協議会テーマ別部会
都市型グループホームの在り方検討について 議事要旨**

1. 開催日時 令和6年11月25日(月) 14時～15時30分

2. 開催場所 まちづくり活動プラザ 1階会議室

3. 出席者 (委員) *団体名のみ記載

浦安手をつなぐ親の会、(福) 敬心福祉会、(福) 東京都手をつなぐ育成会、
(福) 佑啓会、(特非) あいらんど、(特非) タオ、
障がい事業課
(事務局) 浦安市基幹相談支援センター

4. 議事次第

1. 開会

2. 議題

(1) 第2回部会の振り返り

(2) 今後の検討内容、及び世田谷区へのヒアリング内容の検討

(3) その他

3. 閉会

5. 配布資料

次第

6. 議事要旨

(1) 前回部会の振り返り

第2回部会での検討内容(課題点)を確認、共有。

障がい事業課より、前回会議で「確認」となっていた、浦安市のグループホーム補助金制度について説明

があった。

委員からの意見：

- ・親御さんに緊急事案が起こった際に慌てるのではなく、事前に体験利用などをして準備しておくことが、ご本人やご家族の安心につながると思う。
- ・グループホームへの入居を希望している方に対して現況届が届いたが、その中にグループホーム体験利用リーフレットが一緒に入っていた。とてもわかりやすかった。

(2) 今後の検討内容、及び他自治体へのヒアリングの検討

■今後の検討内容

以下、意見交換した内容

- ・市内のグループホームに空きはあるが、入居を希望している方とのマッチングが難しい現状がある。需要と供給が一致するところを探さなければいけない。

→入居待ちしている方が、どのようなグループホーム環境を必要としているのかということ

リサーチし、何が必要なのかを検討していくのがよいだろう。

→計画相談の相談員が、一番、利用者のニーズを把握していると思う。相談員からの聞き取りを行うのがよいのではないか。

- ・夜間等、支援者が常にそばにいる必要はないが、見守りを必要としている方はいる。同じ建物の中でヘルパーが行き来しながら複数人をケアできるような仕組みや体制ができると良いのではないか。

→支援者の人手不足解消、支援の質の担保も兼ねて、グループホーム事業者と居宅介護事業者が協働できるとよい。

→一方で、外部から支援者が入ってくることで、他の利用者さんに影響が出てしまうリスクもある。

- ・東京都では、特別養護老人ホームの中に、障がい者のグループホームが入っているところがある。公募の時点で、両方を運営していくことが条件とされており、高齢福祉と障がい福祉の共生で運営していくことで経営面での安定にもつながる方策となっている。
- ・空き家の活用や近隣地域へ開設範囲を広げる等の解決方法の模索ができるとよい。
- ・グループホームに限らず浦安市内の家賃相場や土地の相場について調査することで見えてくるものがあるのではないか。

■他自治体へのヒアリング

以下、意見交換した内容

- ・どのような対応策を講じているのか、空き家や私有地の活用をどのように進めていくのか等について話を伺えると良い。

■次回会議までに行うこと

- ・他自治体への聞き取り
- ・浦安近隣の家賃相場リサーチ
- ・当事者が求めているグループホーム環境のリサーチ

■次回会議での検討予定

- ・他自治体へのヒアリングとグループホーム新規立ち上げにかかる家賃相場を調査した上で、再度新規グループホーム立ち上げについてシミュレーションし検討する。

以上